
熊本駅周辺地域の都市空間デザイン

【 目 次 】

- | | |
|-------------------------|---|
| 1．都心部との関連性から見た空間構成の基本方針 | 1 |
| 2．基本的な視点と空間デザイン配置方針 | 2 |
| 3．公共空間のデザインイメージ | 3 |

1. 都心部との関連性から見た空間構成の基本方針

熊本駅周辺地区の望まれる役割

- ・ 広域的位置づけ：「熊本の玄関口」、「九州を代表する生活・文化の交流拠点」
- ・ 熊本市における位置づけ
：副都心として、九州中央の拠点にふさわしい交流拠点を形成し中心市街地全体のポテンシャルアップを図る。

目指すべき空間構成の基本方針

地勢から見た基本方針

豊かな水と緑と調和し、人々に「癒し」を与える都市空間づくり。

九州熊本の歴史を表現・アピールしつつ、新たな熊本らしさを形作る都市空間づくり。

動線から見た基本方針

道路・水辺・広場空間が、相互の連続性を意識させ人々に「期待感」を持たせる市空間づくり。

公共空間と民有空間が一体となって、県都の顔となるシンボリックな都市空間づくり。

機能から見た基本方針

多様な人々の活動を、安全で快適にサポートする「安心」を与える都市空間づくり。

地球環境や都市デザインにおいて、九州の牽引役となる都市空間づくり。

県都・熊本にふさわしいシンボリックな“まち”

都市の成長を実感し、活力とにぎわいのある“まち”

豊かな地域の環境と共生する“まち”



空間構成のデザインテーマの設定

心安らぐふれあいが感性に響く
森の都の癒しの空間

地区全体が『森の都』を感じさせる空間の演出により、様々な人々に『癒し』を提供する空間づくり
地区の個性や魅力（自然・歴史・文化・都市活動等）を活かし、誰もが『心の安らぎ』を感じ、ここでの様々なふれあいが『感性(心)に響き』、また、より多くの人々を惹きつける『洒落たデザイン』の空間づくり

《地区を構成する空間軸の考え方》

アメニティ軸	森のみち	水辺の小径
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いとふれ合いの広場（駅及び東西駅前広場）と万日山（緑の拠点）・白川（水辺空間）を結ぶシンボリック性の高い景観軸及び活動軸 ・ 軸上に様々な交流の場が整備され、駅周辺地区の賑わいを醸し出すとともに、人々を駅から緑・水辺へ誘う空間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本駅への主要アクセス道路として自動車だけでなく、市電やバスなど都心等との連絡機能を有する街なか交通軸 ・ 地区の主要南北軸として、パークステーションにふさわしく“森”を実感できる空間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 坪井川の水辺空間と歴史的資源の活用により、賑わいある地区内で心の安らぎを与える散策路 ・ 東A地区再開発と一体となった親水広場を設け、懐古的な風景と水辺の都市文化を再現できる空間づくり

2. 基本的な視点と空間デザイン配置方針



空間軸と回遊拠点

アメニティ軸

- 西口駅前広場 … 開放的で明るい広々とした空間
- 東西自由通路 … 来訪者に優しく、使い勝手の良い憩い空間
- 東口駅前広場 … 出会いとふれあい、木漏れ日の広場
駅に降立つと、安らぎを感じる癒しの空間
- 東 A 交流広場 … イベントや各種催しに適し、高低差を活用した立体的な舞台空間
- 熊本駅新外線 … 枝張りの狭い高木並木で空の開けた空間
- 坪井川水辺広場 … まちの歴史や懐古的な風景を見せる安らぎの空間

森のみち

- 熊本駅北部線 … 熊本の歴史・文化を感じながら都心部へと誘う空間
- 熊本駅城山線 … 電車が緑豊かな林の中を走る個性的な空間

水辺の小径

- 坪井川景観軸 … 水辺を眺めながら歩いて楽しむ親水空間

回遊拠点

- 北の回遊拠点 … 駅周辺の環境イメージと都心部の歴史文化特性との融合をみせる空間
- 南の回遊拠点 … 坪井川、街角広場、合同庁舎公開空地及び歩道が一体となった辻広場

4つのゲート

- 東のゲート … 白川橋からの眺望を活かした溜まり空間
- 西のゲート … 西口の入り口としてゲート性をみせる空間
- 南のゲート … パークステーション領域の境界
- 北のゲート … 北の回遊拠点を兼ねる